

〔2〕 船員職業安定業務の概要

(1) 求人概要

令和2年の新規求人数は、2,354人で全国の12,248人に対し、19.2%となっている。

新規求人2,354人のうち船種別求人状況は、外航部門0人、内航部門(旅客船その他を含む。)2,154人、漁船部門200人となっている。

(2) 求職概要

令和2年の新規求職数は、1,302人で全国の4,135人に対し、31.5%となっている。

新規求職1,302人のうち船種別求職状況は、外航部門4人、内航部門(旅客船その他を含む。)1,273人、漁船部門25人となっている。

(3) 成立状況

令和2年の成立件数は、232件で全国の1,018件に対し、22.8%となっている。

成立件数232件のうち船種別成立状況は、外航部門0件、内航部門(旅客船その他を含む。)232件、漁船部門0件となっている。

なお、就職の成立が不調に終わる原因は、①若年層及び中堅職員の求人に対し、求職者の高齢化(求職者のうち、58.6%が50歳以上の船員)、②労働条件(賃金、雇用期間等)の相違、③雇用条件(海技資格・経験等)のミスマッチ、等がある。

船員職業紹介実績は表-6のとおりである。

表-6

(令和2年)

局 別 \ 区 分	新規求人 申込数(人)	新規求職 申込数(人)	成立数(件)
本 局	220	234	31
福 岡	113	51	5
若 松	353	44	24
長 崎	333	205	13
佐 世 保	113	102	19
熊 本	300	126	43
大 分	296	148	47
宮 崎	12	202	13
鹿 児 島	305	129	18
下 関	309	61	19
計	2,354	1,302	232

